

ヴェリタス学習会通信 78

予定表カレンダー →



令和5年9月の予定

- ・月曜日 9月4・11・18・25日 大安公民館1階研修室 18:30~21:00
- ・水曜日 9月6・13・20・27日 ヴェリタス事務局 18:30~21:00
- ・木曜日 9月7・14・21・27日 員弁老人福祉センター1階会議室3 18:00~20:30
- ・金曜日 9月1・8・15・22・29日 北勢市民会館1階リハーサル室 18:30~21:00

藤原文化センターは休止中です。水曜日はヴェリタス事務局で開会しています。



連絡先

ヴェリタス学習会担当まつみやの携帯電話番号：090-7696-0189（+メッセージも可能）

メールアドレス：npoveritas@gmail.com

LINE ID：m9s0bay（4文字目は数字のゼロです）

Facebookの「松宮 卓」に友達申請していただければ Messenger が使えます。

メールやLINE登録をしていただいた方には、それを利用して休会連絡を行います。手数削減協力のため、できる限りご登録ください。LINEを利用して、宿題等の画像を送ってくる子もいます。自分でできるところまでやって送ってもらうと、効果的な返信ができます。



Zoomなどの会議ツールを利用しませんか



今後、さらに利用が広がる Zoom クラウドミーティングや Skype, Facetime, Google Meet などを利用して学習しませんか。興味のある方は、ご相談ください。

若いときの苦勞は買ってでもせよ

できるだけ楽をして、自分の思い通りになればいいですが、世の中そんなにうまくいきません。一生懸命努力しても報われなかった。そんなこともあります。

見出しの言葉は、「お金を出してでも、進んで大変なことに立ち向かいなさい。労を惜しまず、懸命に努力なさい。若いころから経験してきた苦勞は、のちに続く人生で必ず役に立ってくれるだろう」というものです。自分のやりたいことに出会ったとき、その実現にはいくつもの困難が待っていることでしょう。苦勞した経験があれば、その困難に立ち向かう気力も出るし、方法も見つかるかもしれません。

苦勞と勞苦

日本では、「苦勞」という言葉は、中世の頃から使われているようです。安土桃山時代には「ごくろう」という敬語の表現までできていました。

平安時代前期では、「勞苦」という語が使われた記録がありますが、中世では「苦勞」が一般的でした。近世の仮名草子（かなぞうし）の状況説明文では、「勞苦」が用いられましたが、会話文の中では「苦勞」が使われています。会話では「苦勞」、文章では「勞苦」と使い分ける傾向があったようです。現代でも「苦勞」は口語的、「勞苦」は文語的となっています。

服部は大陸から渡って来た機織（はたお）りの人？

ヴェリタスの理事長は服部（はっとり）といいます。「はっとり」は「機織り部（はたおりべ）」という渡来人の集団の部族の名前です。「はたおりべ」→「はたおり」→「はっとり」となりました。



「服」は、「征服」「服属」「服従」のように、負けたりして家来になり従うという意味があります。人間の身体に付き従う「服」という使い方も納得できますね。「織物」の意味でこの「服」が用いられることになりました。

渡来人たちは、天皇と呼ばれる前の大王（おおきみ）の時代から、大陸や朝鮮半島から渡ってきています。ただ、全国にいる「服部」さんについては、明治になってから苗字をつけるときに、適当につけた例もたくさんあって、渡来人時代から続く血筋かどうかは分かりません。我が家も、何代か前に近くの前家から養子を迎えているので、渡来人の子孫といえるのかも知れません。古墳時代からは、これだけ時代が下ってきているので、苗字などは関係なしに、日本人は、ほぼ渡来人の血が入っていると発言することが可能です。

呉服は中国南方の機織り職人が作った服から

『三国志（演義）』をご存知の方は知っていると思いますが、『魏志倭人伝』が記述している時代、中国は魏・呉・蜀の3つの国に分かれて、互いに争っていました。呉（ご）は長江の南側の海側地域を勢力下においていました。



この地域から渡って来た機織り職人や、その技術で作られた服を「呉服（くれはとり）」→「ごふく」と呼ぶようになりました。主に絹織物の反物（たんもの）の意味で使われ、日本の着物、和服も指すようになりました。（右上の人物は、呉の孫権（そんけん））

岡田屋呉服店→ジャスコ→イオン



四日市に岡田屋呉服店というお店がありました。私が物心ついたときには「ジャスコ」というスーパーマーケットができていました。近鉄四日市駅の少し東にA館・B館という2つの建物がありました。高校卒業後、大学に通い始める前に、棚卸（たなおろ）しのアルバイトに2日間だけ行きました。随分前に四日市駅東のジャスコは閉店しました。

ジャスコは巨大スーパーの仲間入りをして、今では「イオン」という名前になっています。「イオン」は古代ギリシャ語を基にしたラテン語で、AEONのAEはくっ付いた1つの文字です。「永遠」という意味になるそうです。